

**製品名: GFR $\alpha$ -1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11418**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	GFRA1
別名	GFRA1; GDNFRA; RETL1; TRNR1; GDNF family receptor alpha-1; GDNF receptor alpha-1; GDNFR-alpha-1; GFR-alpha-1; RET ligand 1; TGF-beta-related neurotrophic factor receptor 1
遺伝子 ID	2674.0
SwissProt ID	P56159
免疫原	抗血清はヒト GFR $\alpha$ 1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 51-100

**背景**

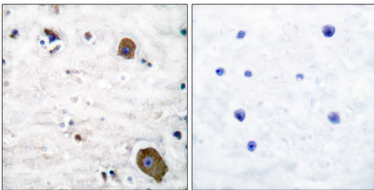
この遺伝子は、グリア細胞株由来神経栄養因子受容体 (GDNFR) ファミリータンパク質のメンバーをコードしています。コードされ

ているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって成熟受容体へと変換されます。グリア細胞株由来神経栄養因子（GDNF）とニューロツリン（NTN）は、構造的に関連のある2つの強力な神経栄養因子であり、ニューロンの生存と分化の制御において重要な役割を果たしています。この受容体は、GDNFとNTNの両方に対するグリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）結合型細胞表面受容体であり、RETチロシンキナーゼ受容体の活性化を媒介します。この遺伝子はヒルシュスプルング病の候補遺伝子です。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つはタンパク質分解によって処理されるプレプロタンパク質をコードしています。[RefSeq提供、2016年1月]、機能：GDNF受容体。GDNF誘導によるRET受容体の自己リン酸化および活性化を媒介します。類似性：GDNFRファミリーに属します。サブユニット：2分子のGDNFR- $\alpha$ は、ジスルフィド結合したGDNF二量体および2分子のRETと複合体を形成すると考えられています。、

## 研究分野

-

## 画像データ



GFR $\alpha$ 1抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。